

(別紙)

## 【セアカゴケグモについて】

### (特徴)

成体のメスは約 7～10mm で全体に黒色を呈し、背中及び腹部には、赤い模様があります。オスは約 5mm の大きさで、茶褐色をしています。毒を持っているのは、メスのみです。

### (習性及び生息場所)

毒グモですが、その習性はおとなしく、素手でつかんだりクモの巣に触れたりしない限り咬まれることはありません。生息場所は、日当たりの良い場所にある構造物の隙間や側溝に、営巣していることが多いとされています。

### (咬まれた場合の症状)

針で刺されたような痛みがあります（すぐに痛みを感じないこともある）。その後、咬まれた場所が腫れたり、痛みが全身に広がり、発汗や吐き気を起こすことがあります。通常は、数時間から数日で症状は軽減しますが、小児や高齢者では、重症化することがあります。

### (咬まれた時は)

咬まれた箇所を水で洗い患部を冷やすこと、多少出血があっても包帯などはせずに咬んだクモを殺し、そのクモを持参して、できるだけ早く医療機関を受診することが大切です。クモは家庭用殺虫剤を直接吹きかけることで、駆除が可能です。

環境省「外来生物法」

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

国立感染症研究所「セアカゴケグモ咬症とは」

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/3150-lh-intro.html>